

授業科目 装具III (下肢装具II)

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	義肢
阿部 薫、坂井 一 浩		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】					
<p>下肢装具のうち、特に短下肢・膝及び長下肢装具を必要とする対象者(患者/障害者)の身体的及び社会的な個別要件を正確に理解し、それらに合致した装具の設計、製作及び適合作業を的確に行うために必要な理論と知識を習得する。</p> <p>また、臨床現場において対象者への短下肢・膝及び長下肢装具の供給を円滑に行うために必要となる知識、すなわち関連法規、支給制度、コストの算出法についても学ぶ。</p>					
【学習目標・行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> 短下肢・膝及び長下肢装具の使用目的を正しく把握するために、医師及び他の医療スタッフと円滑なコミュニケーションが行える。 短下肢・膝及び長下肢装具に関わる各臨床工程において、対象者への説明が的確に行える。 対象者の安全性とプライバシー、及び義肢装具士の作業効率に配慮した作業環境設定について説明できる。 対象者の身体機能等、短下肢・膝及び長下肢装具の設計に必要な情報の種類と収集法(＝評価法)について説明できる。 対象者固有の条件に対応した選択可能な短下肢・膝及び長下肢装具のデザイン、材料、コンポーネントについて列挙できる。 バイオメカニクス及びパソメカニクスの検討に基づいた下肢装具のアライメントについて説明できる。 短下肢・膝及び長下肢装具のチェック・アウト・プロトコールについて説明できる。 短下肢・膝及び長下肢装具装着における問題点について、正しい対処法を説明できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SB0番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	基礎下肢装具学概論：関連用語、分類、使用目的、設計の原則			1	講義
2	臨床短下肢装具学：足関節の機能障害、足関節及び下腿部の外傷の診断と治療			6	講義
3	臨床短下肢装具学：脳卒中片麻痺等中枢神経疾患とリハビリテーション、装具療法 1			1, 2, 4, 5	講義
4	臨床短下肢装具学：脳卒中片麻痺等中枢神経疾患とリハビリテーション、装具療法 2			1, 2, 4, 5	講義
5	臨床短下肢装具学：脳卒中片麻痺等中枢神経疾患とリハビリテーション、装具療法 3			1, 2, 4, 5	講義
6	臨床短下肢装具学：足関節及び下腿部の外傷と装具療法			1～8	講義
7	臨床膝装具学：膝関節靭帯損傷と装具療法			1～8	講義
8	臨床長下肢装具学：長下肢装具の適応疾患(外傷・術後、運動麻痺など)			1～8	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		装具学第3版	加倉井周一ほか	医歯薬出版	2003・6,200円＋税・ISBN：9784263212769
参考書		新編装具治療マニュアル	加倉井周一ほか	医歯薬出版	2000・7,000円＋税・ISBN：9784263215258
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験			【履修上の留意点】		